隊友さつま

◆発　　行◆
鹿児島県隊友会
◆発行責任者◆
川　畑　初　夫
◆印　　刷◆
(株)新生社
鹿児島市七ツ島

総会盛大に開

平成２６年度全国隊友会総会

式典における西元会長式辞

県隊友会長等会同・定時総会は、例年、６月最終の木曜日～金曜日にかけて実施されており、今年は６月の２６日～２７日であった。今回は、紙面を借りて年に一回の総会等で何が行われているかを紹介する。

本会は、県隊友会長会同、総会、式典及び懇親会の４部からなり、県隊友会長会同は、冒頭に藤縄理事長から公社３年と今後の隊友会と題する熱い挨拶があり、次いで総会に提議する議案の審議本部施策の各事業の成果報告及び総会報告事項の審議が行われた。

この中の特異事項は、隊友会歌の紹介であった歌は組織の士気高揚・団結強化の象徴的な存在であるとして隊友会歌の普及を図ることとされた。これは、昨年九州沖縄ブロック会議で提案・斉唱した隊友会歌が発端となった。これまでは隊友会歌の存在さえ不明であったため隊友会本部が調査した結果、今年の県定期総会で斉唱した隊友会歌（各支部にＣＤ配布済）は、候補４曲の一つであり、隊友会歌は全国理事会での投票結果、「ああこの血潮」に決まったことが「隊友」昭和４９年４月号の１面で紹介されていた。９月の支部長会議時、隊友会歌ＣＤを配布する。

定時総会は、総会成立宣言の後、隊友会長会同で審議した議案の採決に続き各種報告事項を説明これらの資料は、県隊友会事務所に閲覧用として提示してあるので訪問時一読して頂きたい。

式典は、国旗に敬礼、国歌斉唱に始まり物故者に対する黙祷後、西元会長の式辞、次いで武田防衛副大臣の祝辞更に来賓を代表して（公社）全国自衛隊父兄会伊藤会長の祝辞と続き最後に表彰があり式典の幕を閉じた。

懇親会は、若宮防衛大臣政務官をはじめ防衛省首脳に多数ご参加頂いた会長挨拶の後、来賓には我が隊友宇都隆史議員も招かれユーモア溢れる手短な挨拶に拍手喝采であった。乾杯が済むと会場は旧知を求めてまるで戦場の様相。まさに宴たけなわの頃、中央音楽隊副隊長の指導で隊友会歌を小節ごと区切って何回も練習後、参加者全員で１～３番を通して斉唱し絆を新たにした。

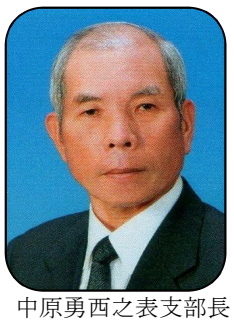
翌２７日は、防衛省主催の募集協力者会同が防衛省内で行われた。実施担当の陸幕人事計画課長の挨拶後、内局人材育成課による自衛官募集の現況説明、その中で「自衛隊を希望者の多い就職先にしたい」との熱いメッセージがあった。

次は陸幕説明で陸自の取組と題して「２５大綱」等の説明（県事務所にＤＶＤ保管）、そして特異なのは、「大卒の２任期終了隊員を新卒として採用するよう大企業に働きかけている」との説明更に募集・予備自・家族支援業務と続いた。次いで海自の募集施策「海の上は携帯が使えないので募集が厳しい」との説明最後は空自の募集施策「テレビの空飛ぶ広報室の効果で、競争率が大となった」という説明。かくしてあっという間に２日間の会同は終了。旧知の方との出会いに加え、盛り沢山で中身の濃い会同であった。

川畑初夫会長　記

思いで雑感

西之表支部　中原　勇


中原勇西之表支部長

平成１６年８月に関西補給処長を最後に陸自を退職して、はや１０年の月日が経ちました。歳をとると月日の経つのが非常に早い事を痛感する昨今です。

平成７年３月から平成９年３月まで西部方面総監部で人事部長として勤務しておりましたが、陸自の「即応予備自衛官制度」が発足し、平成９年度に西部方面隊・第４師団が陸自初の制度導入部隊となることになり方面隊の総力を結集して制度導入の準備を開始し、協力企業の開拓や即応予備自衛官の募集に心血を注いでおりました。

平成８年度だったと思いますが、隊友会の「九州沖縄ブロック研修会」が鹿児島県で開催されたときに、西方人事部長として「即応予備自衛官制度」についてブリーフィングをさせてもらい、九州・沖縄の各県隊友会の皆様にご支援ご協力をお願いする機会がありました。

制度の説明後の質問において、「予備自衛官の１週間の訓練でさえ、大変苦労しているのに、年間３０日の訓練に出頭するのは、大変難しい。」とか「即応予備自衛官雇用企業給付金があるからといっても、年間３０日の訓練に参加させるのは企業側も大変だ。」などと、即応予備自衛官制度の運用の難しさについてご指摘を頂いたことを鮮明に思い出します。予備自衛官として勤務してきた経験者であり、民間企業に勤務していた経験者でもある隊友会の皆様から偽らざる本心からのアドバイスを賜り、年間３０日の訓練のやり方や企業開拓に、一工夫も二工夫もして制度のスムーズな運用開始に向けて努力した日々が懐かしく思い出されます。まさに、「国民と自衛隊のかけ橋」として相互の理解を深めることを目的とする隊友会の心髄にふれた人事部長としての経験でした。

現在、西之表市においては「馬毛島問題」を抱えておりますが、「市民と自衛隊のかけ橋」となるべく、「地盤なし」、「看板なし」、「カバンなし」の環境下において昨年２月の市議選に立候補した訳ですが、県隊友会の皆様のご支援ご協力のお陰をもちまして、ギリギリで当選させて頂きました。お陰様で、一般質問において、市長の馬毛島絶対反対の理由の根拠レスを追及したり、市民の皆様に空母艦載機の陸上離着陸訓練（ＦＣＬＰ）の騒音の影響や米軍基地化・航空機事故・治安悪化などの恐れがないことなどを質問・追及させて頂いております。

今後とも、西之表支部会員の皆様や自衛隊父兄会、自衛隊協力会などの皆様と共に馬毛島に自衛隊施設が整備され、地域の活性化がなされることを目標に努力してまいります。今後とも、県隊友会の皆様の変わらぬご支援ご協力を宜しくお願い致します。

中原西之表支部長　記

外務大臣政務官に就任

参議院議員　宇都隆史氏

鹿県隊友会からお祝いの胡蝶蘭と宇都議員

ふるさと鹿児島の隊友会の諸先輩方、航空自衛隊出身の「空飛ぶ参議院議員」こと、宇都隆史です。

９月４日、世耕官房副長官より直接電話にて、「宇都先生、外務大臣政務官を宜しくお願いいたします。」との指名をいただき、外務大臣政務官に就任致しました。一年生議員の私が政務官に就任するということ自体が驚きでしたし、「防衛ではなく外務ですか？」と聞き返したくらいです。

元自衛官としては、集団的自衛権等の法的基盤の再整理を行う重要なこの時期に、古巣である防衛省に戻って研鑽を積みたいという思いがあったのですが、防衛とコインの裏表の関係にある外務省のポストを拝命したことには色々な意味があるのだと思います。一つは外務省を戦う組織に生まれ変わらせていくこと。防衛省が有事のディフェンスを固めるのが使命であるとすれば、外務省は平時において国益の獲得のためにオフェンス（攻め）の外交を担わねばなりません。

安全保障のプロとしてまた戦う部隊で育ってきた一自衛官として、政務官という立場から外務省改革を行っていきたいと思います。

さらに、今回私は北米および中南米を担当することになりました。日米同盟を基調とした安全保障戦略を推進する上で、米国や世界各国の親日派の政治家や有識者との信頼関係を、若いうちから作っておくことはこれからの日本を牽引する世代の政治家として、非常に重要なことだと思います。

小さく纏まらず、大局観を持って政治家としての幅を大きく広げるべく更なる研鑽を積んでいきたいと思っていますので今後とも変わらぬご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

宇都隆史参議院議員　記

夏祭りで武道展示

南さつま支部

毎年６月２３日、南さつま市加世田の竹田神社夏祭りが行われる。

この夏祭りは、島津中興の祖である「島津日新候忠良」を祭る竹田神社の夏祭りで、鹿児島県下三大夏祭りである。

当日は炎天下の中、武芸展示奉納に、南さつま支部、金峰支部会員が出場し、銃剣道、短剣道、杖道、十手、鎖鎌など多岐にわたる我が国固有の武道を披露し祭りに訪れた観衆の目を引きつけるとともに夏祭りを盛り上げ、神社関係者に感謝された。今後も、引き続き地域行事等へ出演し行事の成功に寄与したい。

武道展示で観衆の注目を浴びる会員達

真剣に古武道展示の会員

南さつま支部長
竹ノ内　純一　記

回帰線

「集団的自衛権の意義」

終戦の日のこの時期、戦争の悲惨さを訴える多くの報道が行われるが、今年は特に、集団的自衛権に反対するマスコミ等が絶好の機会とばかりに集団的自衛権は、戦争に道を開くものだとのプロパガンダを繰り返した。国際的な安全保障を構築しようと設立された国連は理想とはほど遠く、各国は同盟に基づく集団安全保障により安全を確保しているのが現実であり我が国も日米安全保障の下で平和と安全を保持してきた。▼本来、集団安全保障は加盟国が相互に集団的自衛権を担保することで成立するものである。その中で、米国だけが日本防衛の責務を負う日米安保は極めて特異であり、その代償として日本は独立国とは思えない多数の米軍基地を提供し経済的負担を余儀なくされてきたのである。▼その日米安保の実効性は米国の一存にかかっており現に尖閣列島の保全さえ米国の言動に一喜一憂させられた。▼力がなければつけ込まれることは南沙諸島、西沙諸島の例を見るまでもなく明らかであり、実効性ある抑止力を確保するための第一歩が集団的自衛権である。憲法前文のとおりに諸国民の公正と信義に信頼し日本だけが特別扱いされることを期待して、子や孫の未来を託すことはできない。

常務理事
石崎　耕太郎　記

生と死のはざまで

中原敏實 相談役

私は３月１７日、生まれて初めて入院した。私の８３年間人生は、山あり谷あり、上り坂あり下り坂ありだったが、今回の入院は「まさか」の坂で「青天の霹靂」であった。

３月１７日定年後毎日続けている温泉入浴中の１４時頃サウナの中で倒れ意識不明となり温泉の社長の手配による救急車で緊急入院し、救急処置により２時間後に意識を回復した。意識は回復したが頭も身体も正常に動かず口も呂律が回らず死を覚悟し希望を失い悲観して涙がこぼれた。

然し、点滴・注射・飲み薬の投薬と医師、看護師の懸命の努力により２日目には病状が好転し、３日目には８０％回復して一命を取り留め家族共々安心した。しかしこれからが大変。原因究明の検査が明けても暮れても続き検査漬けの毎日であった。脳波をはじめ、心電図、エコー、ＭＲＩ等最新の医療機器を使っての検査が続いた。

明確な原因は不明のまま３月末のエコー検査で思いもよらず「大腸ガン」を発見、４月８日開腹手術となった。手術は初めての事でまな板の鯉とは行かず戦々恐々、薄氷を踏むが如きの心境で臨んだ。手術中は麻酔のため自覚はないが麻酔から覚めた後の痛みは耐えられなかった。寝返り・咳・少し力んでも痛みがひどく、看護師に何回痛み止めを要求したか。１週間過ぎてようやく楽になった。

それでも腕には点滴３本、鼻には酸素管、腰には大小便の管で歩行はもちろん身動きできない状態で、おむつ・しびんのお世話になり情けない有様で健康の有り難さを実感した。この間、口からの食事は無く、点滴のみで生存、２週間後に重湯・３分粥・５分７分全粥と進み、１５日後ようやく普通食となり生き返ったことを実感した。

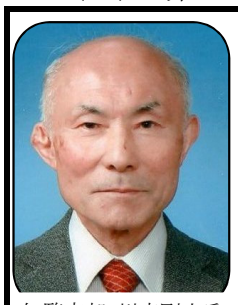
術後の経過は順調で、リハビリに専念し５月１４日入院２ケ月ぶりに退院した。入院中家内と娘が毎日来てくれて家内は元看護婦の知識を活かして医師と相談しながら看病してくれて心強かった地域の皆様、友人知人等から沢山のお見舞いを戴き留守宅には近所のご婦人方が泊まり込んで下さり涙が止まらなかった。

今回の入院で近代医学の進歩に驚き、医師・看護師の献身的な活動に感動した。

今後は、命の尊さを思い、不幸中の幸いで生かされた事への感謝の思いをエネルギーに変え報恩に徹したい。

相談役　中原敏實　記

特攻隊員の生きざまに


知覧支部 川床剛士氏

各位に於かれましては公私に渡り充実の日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

縁がありまして、現在私は『知覧特攻平和会館』に語り部として勤務、国内外から来館される方々へ、かつての沖縄戦において散華されました陸軍特別攻撃隊員の遺書・手紙などを解説し、その心を伝えております。

今ではとても考えられない苦難の状況下で、最後まで鍛練を怠らなかった彼らの生き様から、私自身いろいろと勉強させていただいております。死を覚悟し練成を重ねた特攻隊員の心労に比べれば、今生のいかなる困難など、ほんの微々たるものと言えるかもしれません。

私は、より良き人生をめざして、その日その時を大切に一生懸命生きる事が、彼らの希求と期待に応える責務ではないかと思うようになりました。来年には後期高齢者の仲間入り、人生残された時間はそんなに多いとは言えません。

私が今最も大切にしているのは、その日・その時を大切に生きることです。毎朝三時には起床し五時前には仏前にて簡単に読経後朝食、家内を誘い五時半過ぎから散歩・ラジオ体操を経て、八時出勤に備えます。この間英会話・フルート練習・新聞閲覧等を日課とし、また最近では見たい歴史やドキュメンタリー番組を録画し、暇を見て観賞するようにしています。コマーシャルは飛ばせるし、零細時間を活用して何時でも目当ての番組を見る事が出来るのでお勧めです。

いささか自慢話と映り失礼とは思いましたが、特攻隊員の生き様から学び、日々時間を大切に実践している事を敢えて述べさせていただきました。

自衛官時代に培った心技体を最大に生かすとともに、退官後の啓発をも大切にし、人生有終の美を飾りたいものと願っております。

知覧支部
川床剛士　記

ボランティアの楽しさ

隼人支部 大迫昌一氏

私は、定年（昭和６０年）後に大病等を３度（脳出血、大腿骨骨折、心臓弁膜症）患いましたが何とかそれらを乗り越え現在は体調も良く１日中野菜や花作りまたボランティア等で頑張っています。

私は、隼人町の出身で地区小学校の校門に門松を作ることを始めて約１５年になります。学校だけでは物足りなくて、地区の大人から子供達に校門用から公民館用、家庭用及びミニ門松の作り方を教えています。

竹や花を植える容器はそれぞれ、ドラム缶の二つ切り、２０リットルオイル缶、業務用缶詰缶、孟宗竹を活用し飾り木等は各人で準備させ、完成品は持ち帰らせています。

その他、小野児童クラブ約３０人の子供達に、凧、風車、ひょうたん、そーめん流し等の作り方も教えています。

最後に自分一人で行っている千羽鶴作りです。早朝約１時間作業をし１ケ月以上かかります。これを、約３年半前の東北地震災害の時、第１２普通科連隊の災害派遣隊に６本の千羽鶴を預け、１日も早い復興を祈りました。

このようなボランティア活動を実施することにより地域の方々との交流も深まり、また生き甲斐ともなっております。今後も元気の続く限り継続していきたい。

隼人支部
大迫昌一　記

JPSSO

JPSSO 上田将文理事長

ＮＰＯ法人　日本の平和と安全基盤を支える会（略称ＪＰＳＳＯ理事長上田将文）は、隊員・ＯＢ・家族の皆様の福利厚生のサポート及びＯＢ等の活動の場を提供するために活動をしています本年度からは、佐藤正久議員・宇都隆史議員ら七名の国会議員の先生方に顧問として就任していただきました。

実施中の事業は、東日本大震災復興事業で、自衛隊ＯＢが約百十五人**規**模で活動しています。その他ホテル管理業務・住宅建設基礎工事を実施中です。また、宮崎支部で「ベテランズ・ライフサポート隊」（代表　本仮屋　勉）が四月から幸先良いスタートを切りました。誠実で丁寧な仕事が評判となっています。

自衛隊見学ツアーは、新たに一般社団法人リディラバと提携して、朝霞の陸自広報館見学ツアーを七月から毎月一回開催し、無関心の若者に「国防」について気付きのチャンスを与えるよう実施しています。

ＯＢの就職援護のためには、都道府県隊友会との連携を強化して、人材の登録制度を進めています。また、予備自等の召集訓練時に人材登録用紙を配布したり、隊友会からＪＰＳＳＯや人材登録制度を説明していただいています。

これからも皆様のために、より良いサービス・活動の場を提供できるよう頑張りますので、復興支援事業に参加できるＯＢの情報提供をお願いします。

ＪＰＳＳＯ　理事長
上田　将文　記

https://travelthepoblem.com/tours/5

https://www.jpsso.org

私の健康法

長谷 博 加治木支部長

私は健康、特に栄養と呼吸法に気をつけています。なぜかというと私の家族（両親、弟）が、やや若くして亡くなったからです。私もそろそろ自分の番だと思うが、今のところお迎えは無いようです。１年前に柿の木に登り作業をしていた時、誤って４ｍほどの高さから背中から落ちました。その時、以前ある道場で習った呼吸法を寝たまま始めたら１時間ほどで随分楽になったことがありました。

私の健康法は、東大の三石巌さん（１５年前９５歳で逝去）の分子栄養学に基づく日常生活の送り方です。第一に高タンパクで、５０kgの人なら毎日７個の卵が必要です。コレステロールについては間違った常識があります。ロシアの医学者が草食動物の兎に卵を餌として与えてコレステロールが高くなったと発表したからです。

人間を車に例えるならば、エンジンがタンパク質でオイルがビタミンです。後は良い酸素を与えれば走ります。ビタミンの中で個体差の大きいビタミンＣは、生後１０ケ月間は肝臓で作るそうです。後の猿時代が長かった為にいつも果物が口に入りビタミンを取る必要が無くなり退化したようです。

昭和３７年に発行した厚生省推薦家庭医学宝典の編集者は、現在の聖路加国際病院理事長日野原重明さんです。ここに書いてある成人一人当たりのビタミンＣは６５mg現在の動物実験では、２４mg皮を剥いたレモン４０個分が必要だそうです。

そこで私は、マルチビタミンとビタミンＣのサプリメントを食後に取ります。これが私の高タンパクメガビタミン、呼吸法による健康法です。

加治木支部
支部長
長谷博　記

【隊友さつまの記事募集】　○ 送付先･問い合わせ等
- **PCメールアドレス　qdrjb662@gol. com**
- **郵送等**　〒891-0203 鹿児島市喜入町544－1　春田博明

防衛省団体扱い自動車保険（指定店）
この団体扱いは一般契約に比べて保険料が
なんと19%割安です
＊初回の契約時に退職時の辞令書又は在職証明書が必要です。
●詳しい事は……
連絡先：**099-229-4103**
ＦＡＸ：099-229-5176
〔引受保険会社〕
損害保険ジャパン　代理店　ASJ鹿児島
※中古車販売及び車検も承ります。

安田 勇康
（隊友会員）

晴れの受賞おめでとう

◎全国隊友会長表彰
☆支部の部
国分支部
☆個人
◆国分支部
鶴田 郢士 殿
多久見信義 殿
◆金峰支部
掛上 恕 殿
◆南さつま支部
高木 敏行 殿

町内全慰霊塔清掃（５塔）

さつま支部

慰霊塔清掃のきっかけとなったのは、今年４月の支部長会議の時さつま町出身の久保康仁さんが実家近傍（佐志）の慰霊塔の清掃ができておらず困っている旨を聞いたことである。早速役場に出向き、現状把握の結果、町内には慰霊塔が５箇所あることが判り、慰霊塔清掃について役場の係と各地区遺族会の方と調整し、隊友会が８月３日（日）に実施することとなった。

清掃終了後の会員達

６月７日の支部総会において、公益社団法人隊友会として慰霊塔清掃の趣旨を理解してもらい、町内全５箇所の清掃を１日で実施することにし、８月３日（日）を実施日予備日を１週間後の１０日（日）に決定した。

時期が近づくにつれ、心配は当日の天候であった。７月下旬以降台風１２号が北上、それに１１号も発生していて、毎日の天気予報が気になり輾転反則の繰り返しであった。前日の２日（土）は台風の影響で雨、３日も雨の予報で予備日の頃も、台風１１号が上陸しそうであったため、少々の雨でも実施する旨決心し当日を迎えることとなった。

この日の天候は曇りで雨も降らずさわやかな汗をかきながらの作業となった。参加者は２０人、会員のほとんどの方が軽トラックを所有されており草刈り機、刈り払い機熊手、鎌や箒等を持参し草刈り機等で草を刈る人集める人、慰霊塔の砂利敷きに生えた草を取る人散乱した枯れ枝を集めて焼く人、弁当を調達する人、それぞれ役割に応じて分担した作業ができ、

大活躍した軽トラック隊

５箇所すべてを１５時頃には終了し当初の不安も杞憂に終わりほっとしたところである。

佐志の慰霊塔は、西南の役、日清・日露戦争、先の大戦の３塔の慰霊碑があり先人の慰霊に対する思いを改めて偲んだ。

また清掃間、久保さんのお兄さんからお茶等の差し入れがあり大変お世話になった。

清掃当日、南日本新聞のさつま支局長の取材を受け、このことは８月１２日の朝刊に掲載された

さつま支部長　末永幸里　記

錦江湾クリーン

７月５日（土）国分支部（支部長　宮ノ原拡）は、国分下井海岸で行われた「錦江湾クリーンアップ作戦」に参加した。

毎年海開きの日に行われる行事で、今年も家族会員を含む約１００人が参加し、海岸線のゴミ等を拾い海の安心安全の為早朝から汗を流した。

作戦に集まった団体の方々

錦江湾は「霧島錦江湾国立公園」に指定されており、また下井海岸は海水浴客で賑わう所でもある。海難事故防止のためにも市民・地域団体等と協力し、今後更にクリーンな海を持続していく必要があると思った。

本作戦終了にあたり、国分支部長が参加団体多数の中、参加者を代表して挨拶した。クリーンアップ作戦の意義及び隊友会の役割・活動状況等を説明して参加者の労をねぎらった。

クリーンアップ作戦終了後、下井海浜公園で支部の友好グラウンドゴルフ大会を実施した。ベテランから初心者までの６４人が参加、和気あいあいの中楽しくプレーして市民と隊友会の輪を広げた。また、協力会社から飲食物や豪華な賞品を提供して頂き大会が盛り上がるとともに会社の家族も参加され、夫人、子供さんから若さと元気をもらった。

今年度の県のグラウンドゴルフ大会は、国分支部が担当で、１１月８日（土）下井海浜公園で実施しますので各支部の多数の参加をお待ちしています。

国分支部　事務局次長　早﨑　勝美　記

行進訓練激励（新入隊員）国分支部

国分支部（支部長　宮ノ原　拡）は、平成２６年３月に着隊した新隊員を激励するため、入隊式２５km行進及び修了式に参加した。

入隊式は４月１２日に行われ、一般陸曹候補生２７９人が入隊した。式では、家族の見守る中やや緊張の面持ちで、混成団長の訓示、教育大隊長の要望事項に真剣に耳を傾けていた。また、「宣誓書」を力強く読み上げ特に、「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努め・・」

協力団体の拍手・声援での大応援

２５km行進は、５月中・下旬の３日間にわたり実施され、上野原縄文の森での激励に支部長以下２０数人をはじめ地本の国分所員、隼人支部、国分父兄会の方々も参加、隊友会の幟旗を立て沿道で盛大な拍手と声援を送り、女性会員は飴を配り元気づけた。

着隊から３ケ月後の６月２９日修了式があり、入隊式での不安そうな顔は微塵もなく、みるほどに逞しくなっており、入隊式で大隊長が要望された「①誠実にして謙虚、常に前向きに進め、②同期の絆を作れ」を実践した顔だった。

２７５人が修了式を迎えたが、１１３教育大隊で学んだことを忘れず、新任地では若さを武器に更に心身を鍛え、國の防人として専心職務の遂行にあたることを期待したいのところは決意を新たにしたことと思う。

国分支部　事務局長　後村勝義　記

戦没者慰霊碑等

隊友会喜入支部は、平成２６年８月２日（土）の早朝、堀支部長以下７人で「西南の役の松魂塚」とともに「喜入地区戦没者慰霊碑」の清掃を実施した。この清掃は昨年、喜入支部を立ち上げ最初のボランティア活動として実施し、今回で２回目となった。

清掃終了後、汗一杯の会員達

作業自体は「喜入地区の戦没者遺族会」の方々と一緒に実施し、終了後に「鹿児島市市議会議員堀　純則　氏」から遺族会の方々に対し、隊友会のメンバーを紹介してもらうとともに遺族会会長から支援に対する感謝の言葉を頂き、会の存在感を大きくアピールすることができた。

また、夕方からは早朝の疲れを癒すとともに会員の懇親を図るため支部長宅でのバーベキュー大会を計画していたが、雨のため急遽室内でオードブルに切り替え会員１２人、奥様４人の参加を得て、盛大に実施した。

最初に堀支部長から喜入支部の現況報告で、２人の会員が鹿児島地区協議会長から表彰されたこと、隊友さつまの７月号には喜入支部関連の記事が３件掲載されたこと、また今年度末には４～５人の新会員増加が見込める等との紹介があり、喜入支部の充実・活性化が図られているとの挨拶があった。

その後の懇親の場では、慰霊碑清掃等ボランティア活動の強化・拡大と今後会員の増加が見込まれることから喜入支部の更なる活性化を図っていこう等の意見が出て３時間にわたる懇親会は、大盛会のうちに終了した。

喜入支部　松久保貞三　事務局長記

支部紹介

鹿児島県本土から約４７０km、奄美大島の南に浮かぶ周囲約８４kmの島が徳之島です。

徳之島支部は、現在「総員２６名、事故７名、現在員１９名」という点呼状況です。事故というのは、現在積極的に参加を頂けていない方々ですが、本会の目的、趣旨を理解して頂いて、メリットを求めず積極的な参加をお願いしているところです。

多くの花が供えられた慰霊塔

本支部の主な活動としては、年に１度の総会、忘年会の他平成１９年３月に発生した急患空輸任務遂行中の航空機事故で殉職された隊員の慰霊祭及び町主催の戦没者追悼式への出席、更には入隊予定者壮行激励会への出席等です。

徳之島は小さい島ながら３町に分かれており、各町に、自衛隊父兄会が結成されています。

今後、募集事務所及び各父兄会とも協力・連携し、島民の自衛隊に対する理解を得るべく、会員一同広報活動を行っていきたいと考えています。

徳之島支部　支部長　平野勝宏記

謹んでご冥福をお祈りします

◆薩摩川内支部　山本　孝一（特別会員）
◆垂水支部　徳村　弘幸
◆樋脇支部　下園　和男
◆姶良支部　伊地知輝昭　瀬戸口篤次　四元五郎　吉田寛　玉利重徳　川俣治男

《業務内容》
◆ 叙勲受章に際してのトータル的なアドバイス
◆ 拝謁上京時のご案内
◆ 叙勲額・大臣表彰額及び特注額の販売
◆ 叙勲・大臣表彰等各種記念品及び贈答品の販売
※ 叙位叙勲受章のご家族もお電話でお尋ね下さい

たからてんじんどう
株式会社 寶天神堂
鹿児島市伊敷8-3-12　電話：099-218-4081
HP：http://www.jokun-iino.jp

大滋酒造株式会社
〒893-0016 鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
TEL 0994-44-2190　FAX 0994-40-0950

創立記念盛大に開催

川内駐屯地二十九周年

川内駐屯地（司令　北野　和彦　二等陸佐）は平成２６年９月６・７日（土、日）の両日にわたり、「歩」（あゆみ）～共に歩もう未来へ繋ぐ絆の架け橋～をテーマに、川内駐屯地創立二十九周年記念行事を挙行した。

６日に行われた「市中行進」では、第１２普通科連隊（国分駐）及び都城駐屯地の音楽部による音楽行進に続いて、支援部隊等による車両行進が始まり、７４式戦車２両を含む車両約５０両及び航空機１機が国道３号とその上空を威風堂々と行進・飛行した。沿道にはその雄姿を一目見ようと約５５００人の市民が日の丸の小旗を振って声援を送った。

観閲官 第８施設大隊長兼川内駐屯地司令

また、同日夕方からは川内文化ホールにおいて薩摩川内市自衛隊協力会主催の「市民と自衛隊員のつどい」を催し、市民による音楽演奏・和太鼓演奏・創作ダンス・フラダンス・チアリーディング、自衛隊員による音楽演奏・寸劇・和太鼓演奏を披露し、来場した約９００人の観客に笑いと感動を与えるとともに、市民と自衛隊員との交流を深めた。

翌７日の駐屯地一般開放においては、来隊した約４０００人の市民に対し、観閲式及び訓練展示において武力集団としての「強さと逞しさ」を示すとともに、戦車・軽装甲機動車等の試乗、施設機械の体験操作・ミニ制服試着等の体験型の装備品展示、市民の方の支援を受けて実施した野点（お茶）、各部隊及び地元の観光物産協会による飲食物等の売店により、来隊者に「和みと楽しみ」を提供した。

特に訓練展示は、高台にあり、かつ広い地積を有する駐屯地の特性を活用し、能力を最大限発揮したヘリコプターによる匍匐飛行及び１５５ミリ榴弾砲や７４式戦車等の展開等と併せて、化学火工品等を使用した実戦さながらの迫力ある戦況現示により、来隊者から賞賛の声があがった。

こうして、２日間にわたった記念行事は、一部雨に見舞われたものの、各協力諸団体と各部隊の多大なご支援により成功裡に終了した。

川内駐屯地は、今後も地域の皆様と絆を強くし地域から信頼され、「郷土の誇りとなる精強な部隊」となれるよう日々精進していく。

川内駐屯地
広報班長　記

瀬戸内町総合防災訓練

奄美基地分遣隊は、奄美大島本島の南端に位置し、大島海峡と加計呂麻島が見渡せる瀬戸内町にあります。

主な任務は、艦艇及び航空機への支援ですが、地域に貢献するために、様々な活動や訓練に積極的に参加しています。今年も８月３１日（日）に行われた、平成２６年度瀬戸内町総合防災訓練に参加しました。

今年で１７回目となる防災訓練は、古仁屋からフェリーで２０分程かかる加計呂麻島の生間港一帯で、瀬戸内町役場、消防分署、警察署、保安所等の２１団体４００人程が参加して行われました。

また、ＦＭせとうちラジオ局や携帯電話の緊急速報を使用した情報連絡伝達訓練や避難誘導訓練、救出救護訓練、バケツリレーや簡易消火栓を使用した消火訓練、非常食炊き出し訓練等が実施され我々自衛隊は救出救護訓練を担当しました。

内容は、医師の指示を受け、救護所から搬送船まで担架等を活用しての搬送で、４人１組になって実際の人を担架に乗せ２００ｍ程搬送するというものです。この日は日差しも強く、大量に汗をかく中で真剣に取り組みキビキビした動作で訓練を行い、奄美基地分遣隊をアピールできたと思います。

南の島の小さな部隊ですが、任務はもとより、地元地域との信頼関係の維持向上に努め日々の訓練に励んでいます。

奄美分遣隊
海曹長
東吉豊　記

負傷者を約２００ｍ担架搬送する隊員達

定年退職に思う

12普連 中野善幸陸曹長

私は、１０月に陸上自衛隊を定年退職致します昭和５４年に入隊以来３５年余り、今思うと「あっ」という間に過ぎてしまいました。

私は、定年は「まだまだ」だと思っていましたが改めて定年が近づくとこの間大きな事故・怪我等なく多くの方々に支えられ無事健康で定年を迎えられることに感謝の気持ちで一杯です。

これもひとえにすばらしい上司、同僚、何も言わずに付いて来てくれた後輩のお陰と思っています。また各種教育入校で知り合った同期は、私にとっては一生の財産であり友人です。

私は定年が近づくにつれ、再就職について、何がやりたいのか？何ができるのか？と思い焦ってしまいました。このような事の無いように、自分の特技のレベルアップ、資格、免許の取得などが必要だと思いました。

私は、自衛隊で長年車両操縦手として仕事をしてきましたので、その経験を活かした就職を当初から希望していたところ駐屯地援護センターのご尽力によりまして私の希望通りの就職先が内定しました。就職先は、スクールバスの運転手なので今まで同様に無事故・無違反に努め、自衛隊で長年培った体力・気力・使命感・規律・礼儀など、元自衛官ということを忘れずに学生の送迎を実施したいと思います。

また退職を迎える方は自分はどんな仕事に就きたいのかをはっきり考え早い時期に援護センターに出向き情報収集を実施して下さい。

自衛隊では、各種の資格・免許を取得することができますが、一般企業は、その資格・免許が使える人を即戦力として考えています。そのためにも経験が必要だと思います。

国分駐　１２普連
陸曹長　中野善幸　記

初司会で得たこと

初の司会に挑戦した塩浦真美士長

私は、今回の駐屯地創立記念行事の「市民と自衛隊員のつどい」の司会を行いました。

指名を受けた時は「私に出来るだろうか。」、「大変そう。」など消極的な考えを持っており、練習が始まっても、慣れない仕事（司会）での緊張と、言葉の発音やタイミング等、考慮しなければならないことが沢山あり、悩む日々が続きました。

しかし、練習を重ねていくうちに「この部分はこう言った方がいいのではないか。」「こういう言い方をしてみよう。」と消極的な意識から積極的な意識へと変化していきました。普段勤務している中で、市民の方々と接する機会がほとんどない為、普段何気なく使っている言葉も市民の方々には理解しづらい面もあると思ったので、理解していただけるよう考えながら司会を行いました。

今回の司会という任務は、ただ台本通りの言葉を話すのではなく、市民の方々の顔を見ながら、場の空気を読んで伝えたい事を的確に伝えることが大切なんだということを学び、私自身の見識を広げるとてもいい経験になりました。

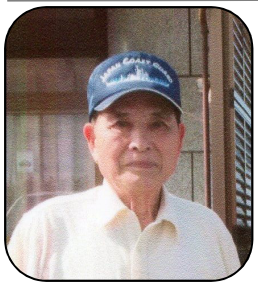
また、私事ですが、７月に入籍をして８月から営外者となり、職場と家庭の両立で、慌ただしい毎日を過ごしています。営外者となれば今まで以上に市民の方々との交流も増えると思いますので今回の経験を生かし、職場にとどまらず、広い視野と柔軟な考えを持って仕事に家事に取組みたいと思います。

市民に信頼される自衛官、夫に信頼される妻を目指して頑張ります。

第８施設大隊　本管中
陸士長　塩浦真美　記

会員紹介

南さつま支部 高木敏行


南さつま支部 高木敏行氏

高木氏は昭和２７年、鹿屋へ入隊し新入隊員教育終了後、第１２普通科連隊へ配属、以後相浦の第５陸曹教育隊の助教として活躍、家庭の都合で昭和３１年１２月依願退職し加世田に帰省、高木商店を継ぎ、地域社会に多大な功績を残した。その功績に対する表彰等を紹介する。

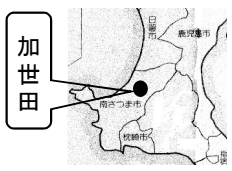
①民生委員・児童委員として、平成１７年　藍綬褒章受章、厚生労働大臣（２回）、鹿児島県知事南さつま市長から感謝状をそれぞれ受賞。

②海上防犯連絡員及び海上保安協力員として、第１０管区海上保安本部長串木野海上保安部長から感謝状を受賞。

③自衛隊関係では、平成１９年、自宅に掲示板を設置し、鹿児島地本知覧分駐所が年間を通じ募集広報用ポスターを貼付して自衛官募集に効果を上げている。

最後に、現在８２歳の高齢であるが、海上保安協会海上協力員等地域社会の為に幅広く活躍中である。

南さつま支部
竹ノ内純一
支部長　記



全国の隊友向けに造りあげた一品!!
薩摩本格焼酎　天の輝き「隊友」　隊友会本部推奨

☆そのこだわり
●原料はすべて鹿児島産100%使用
●サツマイモは黄金千貫、麹用コメはひのひかり
●水は吹上浜の天然地下水
◎ 売上の一部を、鹿県隊友会（本部、支部）へ還元
（お問合せ下さい）割引特典あり
●720ml ¥1,100（税込）
●1800ml ¥2,200（税込）
1ロット ・720ml×12本 ・1800ml×6本 の場合 送料無料!!
酒類通信販売 北薩摩本舗
FAX&TEL0996-44-5718
フリーダイヤル0120-58-7085
〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2230-3

SIRASU
2012 かごしま新特産品コンクール 奨励賞受賞
火山灰白土（吉田シラス）洗顔石鹸
シラスソープ
毛穴の汚れ・黒ずみ スッキリ!!

日の丸石鹸

がんばれ!! 日の丸
株式会社日本衛生センター
http://www.nippon-ec.com/
鹿児島県鹿児島市下竜尾町25番22号
0120－202－208